

## ■お仏壇に関する相談

### どのようなお仏壇を買えばいいのか？

荘厳は誠照寺本堂(阿弥陀堂)に準ずる。

金仏壇の場合の宮殿柱は黒漆に金金具、輪灯は菊輪灯とする。

ご本尊は三幅対とし、中央は『阿弥陀如来絵像(方便方身尊像)、もしくは御木像』、

右は『十字名号(帰命尽十方無碍光如来)、左は『九字名号(南無不可思議光如来)、もしくは六字名号』とする。本山へ願い出て、中央軸の裏書(方便法身尊形と記す)と左右軸をご法主猊下に書いていただいたものを正規とする。御文章箱には誠照寺派御文章を入れ、箱は二条藤のものとする。

お仏壇をご安置した時は入仏法要(住職による読経)を行う。

### お仏壇を処分する時はどうすればいい？

遷仏法要(住職による読経)を行い、仏具屋などの業者に処理を依頼する。

ご本尊(三幅対)については次の仏壇のご本尊とするが、次の仏壇に納まらない場合や仏壇が無い場合は、手次寺院にてお預かりをし、管理する。

### お仏壇はどういう意味があるのか？

お仏壇は私のいのちの向かわせていただく先「浄土」をあらわしているといえる。

お仏壇で手を合わせることは、家族やご先祖が阿弥陀さまのお導きで仏とならせていただいたことを偲ぶとともに、自分自身のいのちの問題であったことに気づき、仏さまに感謝させていただくことがお仏壇にお参りする意味である。お仏壇は亡くなられた方を安置する壇なのではなく、仏さまの智慧と慈悲の光に照らされて、自分の心や姿を明らかにしていく鏡のような場所である。なので、誰かが亡くなってから買うものではなく、今を生きる私にとって今必要なものである。

### なぜリンを鳴らすのか？

読経の際に音程とテンポを合わせるために鳴らすものであり、読経をしない場合には鳴らす必要はない。ましてや、自分が今拝んでいる(仏壇の前に来ている)事を仏様に知らせる様な呼び鈴的なものではない。それは、善導大師の『観経疏・散善義』には「衆生が行をおこして、口に常に名号を称えるならば、仏はすなわちこれを聞いたもう。身に常に仏を礼敬すれば仏はすなわちこれを見たもう。心に常に仏を念ずれば仏はすなわちこれを知りたもう。衆生が仏を憶念相続するならば、仏もまた衆生を憶念せられる。」とあるように、御念仏申す者に仏様は常に寄り添い、大慈悲心が常に届いて下さっているからである。

### お供物はこういったものを飾ればいいのか？

ご飯を炊いた時はまず御仏飯をお供えする。

お供物は餅や果物、御菓子などが一般的。肉や魚など殺生したものは供えない。

頂いたお菓子などもまずは仏さまにお供えしてから頂くようにすると良い。

こちらが仏様にお供えして「あげる」、という思いでお供えするのではなく、仏様をはじめとし、あらゆる恵みよって自分が生かされている事に感謝の念を持ちお供えする。

「まずは私が」という我執を、「まずは阿弥陀さまが」という仏さま中心の見方に転じていく事が大切である。

### お線香はなぜたくのか？

お線香というのは、供香(ぐこう)という仏さまへのお供えの一つ。これは尊い方に相對する時に、自分の

体臭を消し、良い香りを届けることによって、敬いの気持ちを表すために行われるもの。また、そのお香の香りは、その場にいる人に分け隔てなく行き届くものであり、仏さまの慈悲の徳を表すものとして尊ばれるものである。

### **お線香をたく時に寝かすのは何故？**

浄土真宗では、元々は常香盤といって焼香を香炉の中に折れ線状に敷いて、端から火を点じ、長くたけるようにした香炉盤を用いていたが、江戸時代に焼香を固めた御線香が出来たため、折れ線状の焼香を模して線香を寝かせるようにしたという説。

お墓では立てる事も多い。

### **白ろうソクと赤ろうソクの違いは何？**

一般的に 年忌法要などの際は白ろうソク。

歓びを表す、報恩講、慶讃法要などは朱(赤)ろうソクを用いる。

誠照寺派では、年忌法要の時はすべて白ろうソクとする。(地域の風習があれば準ずる)

## **■お墓に関する相談**

### **どんなお墓を買えばいいのか？**

墓石の正面には「南無阿弥陀仏」の六字が良い。又は「俱会一处」。法名などは墓石横や法名板に彫る。

「〇〇家之墓」などは用いない。

### **お墓の移動、墓納骨は勝手にしていいのか？**

お墓の移設、改修については、まずは墓前にて遷仏法要を行う(住職による読経)

その後、石材業者等に依頼して移設、改修を行う。

お墓への納骨も、墓前へ花や御香、お供えで荘厳し、住職による読経後、家族による納骨を行う。

## **■お葬式・法事に関する相談**

### **法名は遺族が付けてもいいのか？**

法名は法主もしくは手次寺院住職が付ける。院号は法主に依頼する。

真実に目覚めた仏弟子としての名前であるため、在家の遺族が勝手につけてよいものではない。

遺族の我執やはからいでつけるものではなく、あくまで仏さまのはからいとしていただく名前である。

「この字を一字使ってほしい」という依頼があれば、仏法に照らし合わせて不適格なものでなければ故人や遺族の希望をきいてあげるのは良いと思われる。

## **■その他いろいろ**

### **お念珠の意味は何？**

宗派によっては念仏や真言、題目の回数を数えるために使う法具であるが、浄土真宗ではお念仏は阿弥陀仏から廻向されるものであるから念仏の回数は問題にしない為、数取器としての意味は無い。

況してや魔除けや御守りなどでは無い。お念珠は合掌礼拝しお念仏申す時の大切な法具として扱う。

### **お念珠の種類はいろいろあるがどれでもいいのか？**

浄土真宗用として一般的に使われているものでよい。珠の素材や数に細かな決まり等は無いが、

当派においては、房に関しては梵天(菊)房はあまり用いない。